

小山町は地域産業の活性化や自然と調和した多彩なライフスタイルと魅力ある地域づくりなどを目指して県が進める、『ふじのくに』のフロンティアを拓く取組へいち早く参画しました。

湯船原地区、小山PA周辺地区、足柄SA周辺地区の3拠点を中心にして、『三来拠点事業』として具現化し、企業誘致や交通アクセスの充実など、さまざまな事業を推進することで雇用や賑わいの創出、新たな住まい空間の創出などを図り、定住人口の拡大と地域活性化を目指します。

新産業集積エリアには、未利用材や廃棄木材をリサイクルしたチップからパーテイクルボードを生産する事業所が進出しています。最先端の技術で木材を有効活用することで地球温暖化の抑制にもつながり、持続可能な社会を作る一助になっています。

また、日本最大級となるサーモン陸上養殖施設が一部操業開始しています。海での養殖は環境への影響が軽減されます。安定した供給ができ、小山町の新しい名産として期待されます。



パーティクルボード製造工場【ENボード株】



サーモン養殖施設【Proximar株】



ペットボトル再生工場【株アドベル】

富士山麓フロンティアパーク小山では、食料品製造業（玉子焼き・豆腐・医療機器や福祉施設向けの給食受託）・化学薬品の製造販売・化粧品・金属製品製造業・管理医療機器製造業・倉庫業などさまざまな業種の企業が進出し、産業振興や雇用の創出、定住・観光交流人口の拡大を図っています。



湯船原全体構想



玉子焼き製造工場【クレフォート東日本株】

静岡県企業局が「富士山を借景にした森林に併む工業団地」をコンセプトとして整備した「富士山麓フロンティアパーク小山」は、2021年に全10区画が完売し、次々と企業が操業を開始しています。また、隣接する町が整備した「新産業集積エリア」でも全5区画中、3区画に企業進出が図られ、工場が次々と建設され、多くの雇用が創出されています。

湯船原地区の「アグリインダストリーエリア」では、次世代施設園芸拠点の施設整備工事が進められ、数年後には国内最大級の施設園芸団地が誕生します。また、湯船原地区第3の工業団地である「上野工業団地」は2023年度の分譲開始を目指して事業が進められており、国道246号からのアクセス道路も整備され、交通利便性が向上します。



富士モータースポーツミュージアム

富士スピードウェイの隣接地にモータースポーツとホスピタリティの融合をコンセプトにしたラグジュアリーホテルが令和4年10月にオープンしました。ホテル内にはモータースポーツミュージアムが同居していることが特徴で、滞在を通じてモータースポーツの魅力を感じることができます。



富士スピードウェイホテル



東名足柄スマートIC

平成31年3月に東名足柄スマートICが開通し、交通の利便性が飛躍的に向上した足柄サービスエリア周辺地区は、首都圏からも人気の高い地域です。富士山を望む豊かな自然環境に加えて、観光関連施設が整備されることで、さらなる交流人口の拡大が期待されます。

足柄SAから直結 観光交流の拠点に

町のアグリインダストリー・エリアでは再生可能な地域資源とICTを活用した次世代農業の拠点と

して整備が進められています。現在は高糖度のトマトの栽培が進められています。今後更にリーフレタスの生産に向けた整備が進められ、安定的な農産物の生産体制が確立することで、高品質の農作物を全国にお届けします。

アグリインダストリー 新しい農業の形



株サンファーム富士小山・株サンファーム令和

東名高速道路足柄SA下り線側の足柄スマートICから、主要幹線道路である県道御殿場大井線に接続する全長1.1kmの町道整備が進められています。東名高速道路へのアクセス強化による関係人口の増加が期待され、地域活性化に大きく貢献します。

足柄SA周辺地区

食品加工生産エリアとなる「富士山麓フロンティアパーク小山」では、大消費地である首都圏へのアクセスの優位性や豊かな自然環境がアピールポイントとなっています。食料品製造などの企業が進出、操業しており、地域の雇用創出にもつながっています。



高糖度トマト

東名足柄スマートIC周辺で予定されている民間開発事業の複合観光施設では、県内の海の幸、山の幸を集め販売を行う直営市場、ターラインに位置する新感覚のホテルがオープンし、交流人口の大増加が期待される宿泊施設などの提供に関する協定」を締結しています。また、平成30年12月には、ビジネスホテルとシティホテルのセンターラインに位置する新感覚のホテルがオープンし、交流人口の大増加が期待される宿泊施設などの提供に関する協定」を締結しています。



ホテルジャストワン富士小山